

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	農業集落排水事業	担当者	生活環境課	上下水道係
-------	----------	-----	-------	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	4. 自然と共生する、便利で安全・安心な村／生活環境の整備／下水道
関連する主な計画等	農業集落排水事業計画
根拠法	下水道法
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他
事業の対象者	大野処理区、浪合処理区、上・下清内路処理区の各区域内に居住している住民及び施設所有者等
事業開始年	平成10年度 <input type="checkbox"/> 時期不明 <input type="checkbox"/> 事業の終期 <input type="checkbox"/> 終期未定 <input checked="" type="checkbox"/>

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	下水処理計画に基づき、施設の整備及び安定的な水処理を行うため、大野・浪合・上清内路・下清内路処理区の適正な維持管理及び施設の長寿命化のため、施設・設備の計画的な修繕を行う。
具体的取組	維持管理業務を専門的な知識と技術を持つ業者に委託し、下水道の汚水処理施設と一元化した管理をすることで安定的な水処理を行った。 村広報紙に住宅リフォーム助成制度が排水設備工事に利用できる記事を掲載し、農集排への接続を呼びかけた。

実績・効果	内 容	単 位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
			水洗化状況	接続戸数	戸	大野 26 浪合228 上清108 下清138	大野 26 浪合229 上清108 下清139
	接続率	%	86.1	86.1	86.1	87.3	87.8
放流水質	BOD	mg/ℓ	大野 1.7 浪合 7.9 上清 3.6 下清 1.9	大野 1.5 浪合 9.3 上清 4.2 下清 2.8	大野 1.4 浪合 8.2 上清 2.5 下清 3.8	大野 1.0 浪合11.2 上清 4.1 下清 6.2	大野 0.8 浪合 8.6 上清 2.5 下清 2.2
	村規則 10mg/ℓ以下 浪合:県基準 20mg/ℓ以下						
	T-N	mg/ℓ	大野 7.4 浪合15.8 上清10.5 下清 7.7	大野 5.4 浪合15.8 上清 3.1 下清 5.5	大野 4.7 浪合13.7 上清 5.2 下清 5.5	大野 6.3 浪合16.6 上清 6.2 下清 4.5	大野 5.1 浪合16.5 上清 5.6 下清 4.4
	村規則 10mg/ℓ以下 浪合:県基準 20mg/ℓ以下						

歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	一般管理費	1,379				
維持管理費	18,747					
建設改良費	0					
公債費	46,665					

事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	100,927	91,771	66,791	71,500	71,000
うち一般財源	16,779	13,297	12,783	15,310	15,000	
うち補助金	0	12,268	0	0	0	
うち一般会計繰入金	84,148	66,206	54,008	56,190	56,000	
うち基金繰入金	0	0	0	0	0	
うち村債	0	0	0	0	0	
従事職員(人)	正規職員	0	0	0	0	0
	臨時職員	0	0	0	0	0

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	快適な生活環境の整備・河川の水質保全のため	A
	手段、成果は妥当か	a	生活環境の向上・河川の水質保全のため	
	対象者の設定は妥当か	a	処理区域内の住民を対象	
	村の関与は妥当か	a	住民の生活環境・自然環境の整備のため	
有効性	期待された効果が得られたか	快適な生活環境の整備・自然環境の保全がされている。村の設定した水質基準を下回る良好な水処理ができており、河川の水質保全に大きな役割を果たしている。	A	
効率性	コストの削減に努めたか	b	維持修繕を緊急度の高いものから行った。	B
	効率性を高める工夫はされたか	b	専門的な技術・知識の習得による適切な維持管理	
公平性	受益者負担は適切か	近隣市町村と比較しても受益者分担金・使用料金は適切である	B	
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	耐用年数を迎える機器の増加に伴い、補助金等を活用した計画的な機器修繕工事を行う。また、料金収入の安定的確保と、維持管理費の圧縮による財政の健全化を行う。
今後の取り組み	耐用年数を迎えた機器の更新費用の増加する一方、人口減少に伴う使用料収入の減少が予想される中、安定的な水処理を適正に行っていく。